

はじめに

このたびは、VICTASの1ローラーマシン「VM-1R」をご購入いただき、誠にありがとうございます。
この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
保証書を必ず保管ください。(修理対応時などに必要になります)

安全上のご注意


人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。


■誤った使いかたで生じる内容を
次のように区分して説明しています。

警告 「死亡、または重症を負うおそれがある」内容。

注意 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。


■お守りいただく内容の種類を
次の記号で説明しています。

 してはいけないこと


 しなければならないこと


警告 火災や感電、大けがを防ぐために

設置場所について：次のような場所への設置は避けてください。(適温：0度～30度)

-  ●このマシンは屋外や、塵・埃・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所などで使用しないでください。
- 水や薬品などがかかるおそれのある場所に本機を設置しないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に本機を設置しないでください。
- 直射日光・暖房設備・ボイラーなどのため、いちじるしく温度や湿度の高い場所に本機を設置しないでください。
- 製氷倉庫など特に温度が下がる場所など、いちじるしく温度の低い場所に本機を設置しないでください。

電源プラグやコードの取り扱いについて


-  ●運転中に電源プラグを抜かないでください(感電や放電による火災の原因)
- 電源プラグはコードを持って抜かないでください(断線して発熱・発火の原因)
- ぬれた手で抜き差ししないでください(感電の原因)
- 途中接続や延長コードの使用、タコ足配線をしないでください。
- 束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱・加工しないでください(感電や発熱・火災の原因)


-  ●電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください(接触不良による感電・火災の防止)
- 電源プラグやコンセントに付着したほこりは、定期的に取り除いてください(感電や火災の防止)

 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く(発煙、発火、関電、けがの原因)

- [異常事例]
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
 - 異常な音やガタガタ振動する。
 - 電源プラグが変色している。
 - ブレーカーが頻繁に落ちる。
 - 焦げくさいにおいがする。

注意 感電やけがを防ぎ家財などを守るために

-  ●本機を乱暴に扱ったり、倒したり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ぬれた手で本機を操作しないでください。
- 球の飛び出し口に顔などを近づけないでください。
- 動作中のローラーに手などで触れないでください。
- 必要以上にローラーの回転スピードを上げないでください。
- 本機を分解、または改造しないでください。

-  ●コードは足等に引っかけない様に長めの延長コードを使用すること。
- 使用しない時は電源プラグをはずし、マシンに袋・布などをかぶせて埃などがかぶらないようにしてください。
- マシンの中に異物が入ってないか点検するようにしてください。

VM-1Rの特長

「VM-1R」は1ローラーの卓球マシンです。

ローラーの設置位置により、ドライブボールと、カットボールが出すことができます。

(次ページの「ドライブボールの出し方」と「カットボールの出し方」をご参照ください)

「スピード調整つまみ」による打ち出しの強さと「ピッチ調整つまみ」による打ち出しのピッチの速さを調整できます。

「アングル操作ハンドル」を用いて、射出口の上下角と左右の首振り角の調整が可能です。

各部の説明と準備

ご使用になられる前に、まずは付属のマシスタンドを組み立ててください。
各部品は重く、鋭利な部分もございます。くれぐれも取扱にご注意ください。

付属のマシスタンドを組み立てましょう

組み立て手順

キャスター付角パイプ(短2本)とキャスター付角パイプ(長1本)を支柱板に付属の工具を使用してボルト/平ワッシャー/スプリングワッシャー/ナット(各6組)を用いて、下図のように組み立ててください。

スパナ 17mmを使用

固定ボルト

支柱

スパナ 10mmを使用

キャスター付角パイプ(短)

支柱板

キャスター付角パイプ(長)

キャスター付角パイプ(短)

上図を参考にして、がたつきのないように完成させましょう

- 上から
- ボルト
 - 平ワッシャー
 - (支柱板・角パイプを挟んで)
 - 平ワッシャー
 - スプリングワッシャー
 - ナット
- の順で6カ所をとめます

注意

ボルトは締めすぎないように注意してください
(締めすぎると折れる事があります)

L型ハンドル
球種変更ロック

射出ローラーと
モーター

射出筒

オレンジローブ

ホッパー

攪拌シャフト

球落ちパイプ

スピード調整つまみ
(打ち出しの強さを調整)

ピッチ調整つまみ
(打ち出しのピッチの速さを調整)

ヒューズホルダー(3A)

アングル操作ハンドル
(上下角の調整)
(横首振り角の調整)

パワーランプ

電源スイッチ

ピッチモーター

固定ボルト

マシスタンド

キャスター

【別売】 保護カバーを 取り付ける際は

左図のように、カバーの内側にある金属製のハンドグリップのネジを付属の7mmのスパナでカバーが動かない程度に軽くしめてください

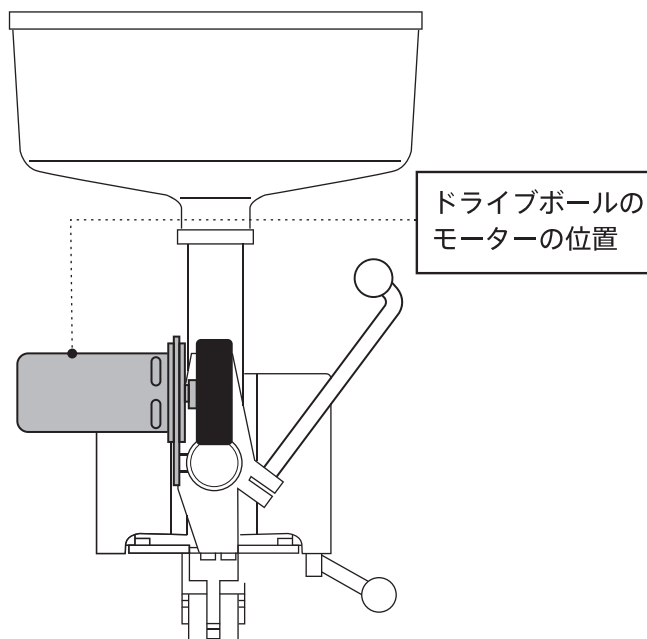
※強く締めすぎるとハンドグリップが破損します。

マシンの操作

- 1.卓球台より 50cm ~ 1m 程の間をおいてマシンを卓球台に向けてセットする。(任意)
- 2.電源コードをつなぎ、球をホッパーに入れる。
- 3.ピッチ目盛りを 30 ~ 40 位にする。
- 4.パワースイッチを入れる。
- 5.球が飛び出したらスピードつまみを回して任意の強さに調整する。
方向はスタンドを動かして決める。
- 6.アングルハンドルを調整して任意の左右角度を決める。
(W=大角、S=小角又は0) [このとき、左・右で1本ずつ球が出る]
- 7.横切れカット等が欲しい時はマシン前部のL型ハンドルをゆるめて、
ローラーモーター部分を左右に回す。
(ローラーが上の時はドライブ系、下の時はカット系、右は右切れ、左は左切れ)
- 8.球種、上下角、マシンの位置等を変えた時には、再調整してください。

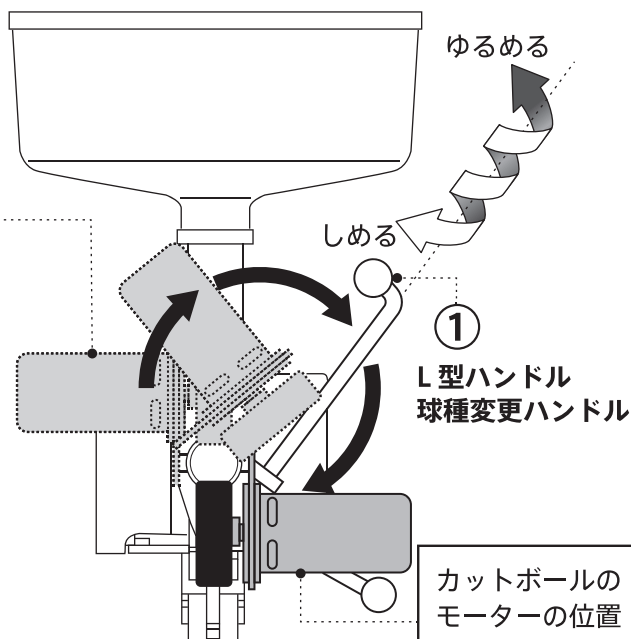
ドライブボールの出し方

ドライブボールを出す際は上図の位置にローラーをセットしてください。



カットボールの出し方

- ①のL型ハンドルをまわしてゆるめ、ローラーを矢印の方向に、まわしてください。ローラーが約 270° 回転します。お望みの所で①のL型ハンドルを締めて、固定してください。



警告



ローラーをまわす時、コードにふれないでください。
モーターのコードを無理に引っ張らないでください。故障します。

ヒューズの交換方法

■ パワーランプがまったくつかない場合

ヒューズホルダーを回して、ガラス管ヒューズ約 3 c m 125 V 3 A を交換してください。

■ パワーランプが着くが、ローラーが動かない場合

カバーの4本のネジを外してください。

開けると基板があり、基板にヒューズがついています。そのヒューズが切れていないか確認の上、切れている場合、ガラス管ヒューズ約 2 c m 125 V 3 A を交換してください。

お困りのときは

簡単な点検・調整

- ※全然動かない
- ※ローラーモーターが動かない
- ※ピッチモーターが動かない
- ※首振りモーターが動かない

▶ 電気は来ているか
ヒューズが切れていないか (3A)
コントロール基盤が抜けていないか
各部の差し込みソケットは抜けていないか
断線またはハンダ付け不良はないか

球が出ない
球が詰まる

▶ 球受部 (L型アルミ管) に異物が無いか
ホッパーの球を手でかき回してみる

コントロール不良

▶ ローラーの摩耗または傷がないか
ローラーが球を押さえる程度は良いか
(ローラーが3~4mm凹む程度が適当)

首振り不良

▶ マシンの中に異物が入っていないか

不明な点はお買い求めのお店、又は下記へご連絡ください。

株式会社 VICTAS

お問い合わせ先 TEL.0120-975-171

www.victas.com

仕様

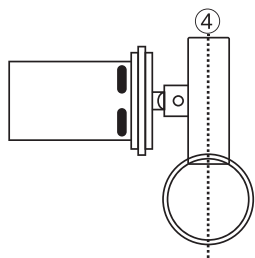
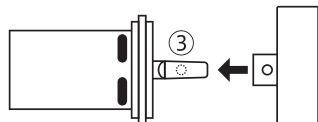
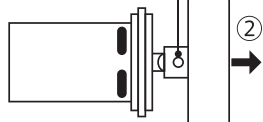
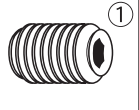
定格電圧 : AC100V
定格消費電力 : 250W

定格波数 : 50/60HZ
使用ヒューズ : 125V 3A

※ローラーは消耗品です。別売りのローラーをご購入の上、以下の交換方法にて取り換えてください。

ローラーの交換方法

6×8セットボルト
(クボミボルト)が
セットされている



① ローラーをはずす時は3mm用の六角レンチ、もしくは六角ドライバーを使用し、左図のセットボルト (クボミボルト) を緩める。

② ローラーをゆっくり引き抜く。

※ローラーが抜けにくい時

左図のセットボルト (クボミボルト) をはずしてCRCなどの機械用潤滑油をネジ穴とモーター軸に注入し、しばらく時間をおいてから、ローラーをゆっくりと引き抜いてください

注意 ⚠️ カまかせに引き抜くとモーター軸を曲げる恐れがあります。

注意 ⚠️ モーター軸の平らな所以外に傷がある時はサンドペーパー等で軽くこすり落としてください。次回交換の時にはずし易くなります。

③ ローラーのセットボルト (クボミボルト) をモーター軸の平らな部分に穴を合せてネジをしめる。

④ ローラー中心と筒の中心を合わせてください。

注意 ⚠️ ローラーのへこみ具合はボールを入れて3~4mmに調整してください。